

# 在来線の地上設備の主な被害と復旧状況(4月17日現在)

2011年4月18日

東日本旅客鉄道株式会社

## ■ 主な被害と復旧状況 計36線区

主な被害	3/11本震		4/7以降余震		(D)に対する進捗率 <sup>(注)</sup>
	被害箇所数(A)	4/7時点で復旧未了の被害箇所数(B)	被害箇所数(C)	4/7以降に復旧する被害箇所数(D)=(B)+(C)	
軌道変位	約2200箇所	約130箇所	約620箇所	約750箇所	約85%
電化柱の折損・傾斜・ひび割れ	約1150箇所	約130箇所	約90箇所	約220箇所	約80%
道床碎石流出	約220箇所	約40箇所	1箇所	約40箇所	約80%
乗降場変状	約220箇所	約20箇所	約50箇所	約70箇所	約95%
盛土・切取等土工設備の変状	約170箇所	約30箇所	約10箇所	約40箇所	約80%
信号・通信設備の故障	約130区間	約30区間	約10区間	約40区間	約90%
橋りょう・高架橋の損傷	約120箇所	約20箇所	約30箇所	約50箇所	約95%
駅舎の損傷	約80駅	1駅	約20駅	約20駅	100%
トンネルの損傷	約30箇所	5箇所	2箇所	7箇所	100%
変電設備の故障	約30箇所	約10箇所	約10箇所	約20箇所	100%
落石	約20箇所	-	約10箇所	約10箇所	100%
乗換こ線橋等停車場設備の損傷	約20箇所	-	4箇所	4箇所	約90%
架線の断線	約10箇所	3箇所	約10箇所	約10箇所	約90%
合計	約4400箇所	約420箇所	約850箇所	約1270箇所	約85%

※ 津波を受けた7線区の被害は含んでおりません。

## ■ 主な線区の復旧状況

主な被害	3/11本震		4/7以降余震		(D)に対する進捗率 <sup>(注)</sup>
	被害箇所数(A)	4/7時点で復旧未了の被害箇所数(B)	被害箇所数(C)	4/7以降に復旧する被害箇所数(D)=(B)+(C)	
東北本線	約1700箇所	約210箇所	約540箇所	約750箇所	約80%
大船渡線 (気仙沼～盛間を除く)	約180箇所	-	約90箇所	約90箇所	100%
仙石線 (東塩釜～石巻間を除く)	約90箇所	約20箇所	約60箇所	約80箇所	約80%
飯山線	約100箇所	約70箇所	-	約70箇所	約75%
常磐線 (いわき～亘理間を除く)	約1280箇所	約50箇所	約30箇所	約80箇所	100%
その他の線区	約1050箇所	約70箇所	約130箇所	約200箇所	約95%
合計	約4400箇所	約420箇所	約850箇所	約1270箇所	約85%

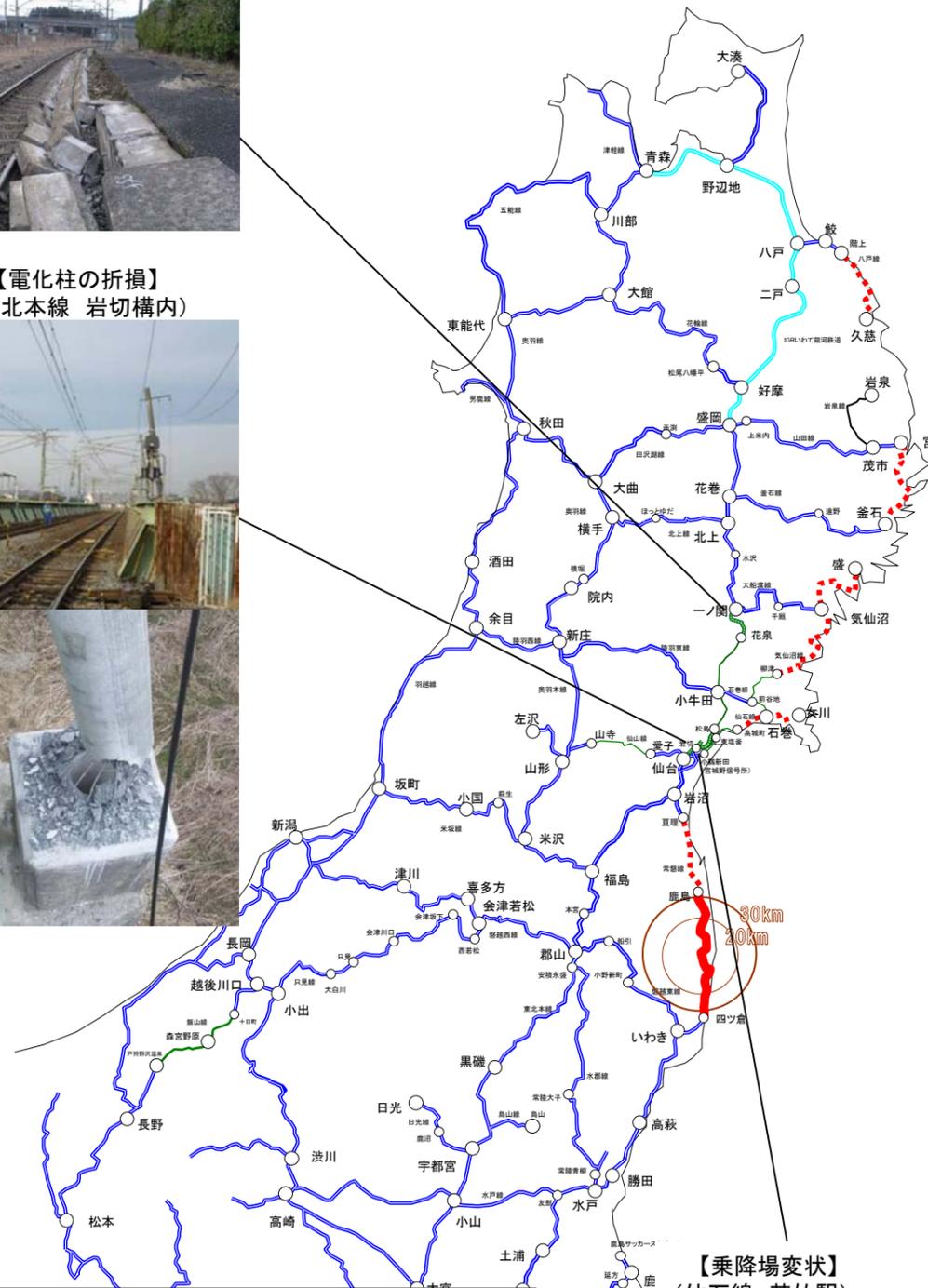
(注) 運転再開をするための復旧工事の進捗率であります。運転再開後に更に補強工事等を行うことがあります。



【乗降場変状】  
(東北本線 有壁駅)



【電化柱の折損】  
(東北本線 岩切構内)



【乗降場変状】  
(仙石線 苦竹駅)

【凡例】

- 点検見合わせ中 (常磐線 四ツ倉～鹿島間)
- - - 点検済み
- 復旧作業中
- - - 運転再開後4月7日余震被害による復旧作業中
- 運転再開 (4/18 10:00現在)

※岩泉線は土砂崩壊のため運転を見合わせています